

寺越和洋の活動報告(主なもの)

第10代 白山市議会議長としての 対外的な活動(平成27年1月~3月)

- 1月11日 石川県県体育協会新年互礼会 金沢市
- 1月13日 加賀5市議会議長会定期総会 能美市
- 2月1日 白山市合併10周年記念式典
- 2月1日 白山市の第9公演解団式と打ち上げ会
- 2月3日 第78回 全国議長会基地協議会総会 東京都
- 2月4日 国会議員要望 衆議院・参議院会館
- 2月5日 北陸新幹線開業試乗会
- 2月7日 バレーボールVリーグチャレンジリーグ PFUブルーキャッツVSJTマーヴェラス戦 観戦 白山市
- 2月10日 石川中央都市圏議会連絡会 金沢市
- 2月12日 第130回 石川県市議会議長会総会 珠洲市
- 2月14日 県民体育大会冬季大会スキー競技会
- 2月16日 谷本知事へ要望 石川県庁
- 2月17日 石川県市町村消防賞じゅつ金組合議会 金沢市
- 2月17日 石川県市町村消防団等公務災害補償等 組合議会 金沢市

- 2月18日 加賀開発促進協 議会研修会 小松市
- 2月21日 藤枝市サッカー 交流 藤枝市
- 2月25日 石川県後期高齢 者医療広域連合 会議会定例会 金沢市



全国市議会議長会

議員としての対外的な活動 (平成27年3月~6月)

- 3月21日 全国食品発酵サミットin白山
- 3月30日 特別養護老人ホーム富樫苑理事会 野々市市
- 5月17日 第66回 全国植樹祭 小松市
- 5月25日 加賀地域連携推進会議 小松市
- 5月29日 加賀5市議長 意見交換会 加賀市
- 6月2日 主要地方道小松鳥越鶴来線改良促進期成 同盟会総会 鳥越市民サービスセンター
- 6月13日 石川県サッカー協会懇談会 金沢市
- 6月14日 サッカーJ2 ツエーゲン金沢VS大分 トリニータ戦 観戦(白山市デー) 金沢市
- 6月15日 石川県フィンランド友好協会総会 金沢市
- 6月25日 白山白川郷ホワイトロード開通式 三方岩駐車場
- 7月4日 金城学園創立110周年記念祝賀会 金沢市
- 7月11日 北陸新幹線建設促進石川県民会議 金沢市



白山白川郷ホワイトロード開通記念式典

主な役職

白山市サッカー協会会長
白山市相撲連盟会長
石川県フィンランド友好協会副会長
石川県サッカー振興議員連盟会員
クレイグラウンドゴルフクラブ会長
元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

寺越和洋後援会事務所

白山市議会議員

寺越 和洋 後援会事務所

〒920-2146 白山市日向町和110番地
TEL・FAX 076-272-2789

- E-mail terakos@asagaotv.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@gmail.com

寺越和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月~ 旧鶴来町議会議員
平成17年3月~ 白山市議会議員
平成23年3月~24年3月 白山市議会副議長(第7代)
平成26年3月~27年3月 白山市議会議長(第10代)

議会での役職

予算常任委員会委員長(初代)
広報広聴常任委員会委員長
産業建設常任委員会委員
地方創生特別委員会委員
白山石川医療企業団議会監査委員

白山市議会議員



てらこし和洋

白山市議会通信

2015年 夏号

暑中お見舞い申し上げます。

貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。皆様方のお陰により白山市3月会議におきまして、白山市議会第10代議会議長としての1年間の役を閉じさせていただきました。大過なく職が全う出来ましたことは偏に皆様方の陰日向のご支援の賜物と感謝いたす所存であります。

そして、各種会議や行事でお目にかかりました皆様方の温かいお心やお気遣いに、改めて感謝と御礼を申し上げます。

今後は、いろんな機会を通じて皆様方から頂戴しました市政に対するご意見を、一議員として活かして市民の負託に応えていきたいと思っております。

さて、昨年5月30日に全国議長会が東京で開催され、引き続き、皇居・豊明殿にて天皇陛下の拝謁以来、今年5月17日の第66回全国植樹祭にて、陛下にお目にかかり改めてありますが、国民を想う真摯なる振る舞いには、頭を下げるものであります。

そして、議長在任中は、知事選挙・市長選挙・衆議院議員選挙、さらに議長職退任後には、すぐに県議会議員選挙と約1年間に4回もの選挙があり、市当局も白山市誕生10年目の節目の大事な時に、政治空白と言われるような年であり、行政事務の集中力の弱さが見られたように感じ入った次第であります。

今年度は、第二次白山市総合計画の策定を行う大事な年であり、また、国が推し進める地方創生計画の早期成る計画の事業化の必要と金沢市を中心とした中枢拠点都市づくりの計画づくりを急がなければなりません。

一方、さらなる議会改革では、3月会議より、これまで各委員会ごとに審議していました予算案を全員で審議する(議長を除く)予算常任委員会を設置し、さらなる予算案の集中審議を行いました。私は、初代の委員長として就任公正公平なる委員会の運営に務めています。また広報広聴委員会を常任委員会化し委員長として住民と議会との垣根をなくすよう、また、親しまれる議会・信頼される議会として微力ではありますがお世話させていただいております。

今、改めて真の白山市を創らなければならないと思っている次第であります。

昨年、議長職を通じて振り返りますと、議長職を通しながら一議員では、見えないものがあります。議長職をすることで見えてくるものがあります。議員としての議会人としての人間の幅が広がったよう

に思います。

しかしながら、マスコミの報道などで、国会議員を始め県市町村議員の議会人としての振る舞いや言動に対し、議会人としての権威の低下や憲政の常識などの意識の欠如に違和感を覚えるところであり、自己中心の議員の多さに、将来の先行き不安感を感じるところであります。

今、白山市においては、尾口地域の中ノ川上流の土砂崩壊による手取川の濁水問題が、今後、住民生活にどのような影響を及ぼすのか、心配しているところであり、市民生活が通常に戻ることを願うばかりであります。

そして、昨年に引き続き、東二口地内で発生した土砂崩れなどを目の当たりにすると、議会としての対応始め、安心・安全のまちづくり必要を、十分に認識し続けているところであります。

さらに、新幹線効果が金沢市やNHKで放映の「まれ」や珠洲市を舞台とした映画「さいはてにて」などの影響により能登地域にも効果が見られるようですが、白山市のさらなる活性化のための仕掛けづくりを推し進めていかなければなりません。

さらに、現代の地方行政は、近隣自治体との広域行政のつながりが重要視されてきています。その中で、議会の役割も執行部と一丸となり対外的なアピールと連携をしていかなければなりません。

今後、これからの議長としての役割は、議会の取りまとめ役だけではなく、国・県への陳情要望を始め、他市町の議会との意見交換など初め、県内外への議会としてのトップセールスの重要性と必要性であると思っております。

私は、昨年、議長職を通して、全国議長会や北信越議長会で他市の議長と懇談する機会に恵まれた訳ではありますが、白山市の議会のアピールも出来たと思っているところであります。

今後は一議員として、市民の負託にこたえていく所存でありますので、今後さらなる、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、議会最終日に、全国市議会議長会、北信越市議会議長会から15年表彰を、受けました。偏に、皆様方の暖かいご支援ご厚情の賜物であり、感謝とお礼を申し上げ、ご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。



Q1 職員の登用・昇進試験の廃止の理由は

質問 昨年の課長職登用試験の結果は。受験者数と合格者数は、何人か。

答え 課長職登用試験は、平成23年度から実施し、11月に筆記試験、1月に面接試験を実施し合格者を課長職登用候補者名簿に登載し、課長職に登用している。

昨年度は23人から応募があり、11月に筆記試験を行ったが、面接試験は行わなかったため課長職登用試験は、平成26年度は実施しなかったことになる。

質問 過去の受験者数と合格者数は。

答え 平成23年度は32人が受験し15人、平成24年度は22人が受験し13人、平成25年度は23人が受験し13人が、候補者名簿に登載された。

質問 不合格者に対するの注意喚起を促す指導は。

答え 試験結果等を本人に示し、どの分野が不足していたかを示している。

質問 職員の昇進試験の廃止の理由は。

答え 職員数の適正化、組織機構の見直しによる管理職数の変化、再任用者の処遇、県などへの職員の派遣等により登用数が少なくなったためである。

質問 課長職登用試験を再開すべきと考えるが、今後の予定は。

答え これまで年2回、勤務評定をしており、目標管理制度の中で、上司との話し合いを行い、資質向上を図りながら指導育成を行っており、その中で十分能力のある人材が登用できる。

質問 市長は、職員のモチベーションやスキル向上のため、個々の職員と面談し、業務の内容や、市民の声を間接的に聞くような職員との面談する機会づくりが必要だ。

答え 個々の職員と意見を交わす機会づくりは大切であると考えている。庁内会議の説明員の人数を増やしたり、職員互助会との連携、新規採用職員研修時での講話など取り組む。



Q2 市立野球場建設の進捗は

質問 市立野球場の建設時期については、相木第二土地区画整理事業の進捗状況により決めると、3月会議で述べたが、その後の進捗状況は、どのようになっているのか。

本来であれば、造成工事が終わり、建築工事にかかっていなければならない時期であるが、平成28年度中に完成できるのか。建設する考えはあるのか。また、野球場建設が、かなわない場合、芝生を張り自由広場として建設するような、野球場以外の用途変更の考えはあるのか。

答え 相木第二土地区画整理事業の進捗の遅れから、相木野球場の使用期間が延びており、新野球場建設を見合わせている。

相木第二土地区画整理事業は、地元と協議を続けていて、区画整理事業の進捗に合わせて野球場建設を進めていきたい。



Q3 「かんぼの郷白山尾口」の取得理由は

質問 これまで行政のスリム化を進める中、土地・建物の売却を行ってきたところであるが、市が、「かんぼの郷白山尾口」を取得しなければならない理由は。

答え 白山ろく地域の活性化や継続的、安定的な地域振興を図ることが、最善と考えたため。

質問 市民の方からは、市が取得し今まで通りの運営を求める声もあるが、将来の地域活性化のコンセプトと具体的な計画を示せ。

答え 「地域の元気を取り戻す」がコンセプトであり、具体的な計画を早急に検討する。



Q4 山島工業団地の、さらなる企業誘致の促進策を提案

質問 工業団地内で企業が、上水道を自己でさく井する場合にリスクが高いと考える企業もあるが、市として地下水をさく井し、企業誘致を押し進めよ。

答え 上水道の供給については、工業団地の計画段階より、立地企業が自己井戸を設置し確保することとしている。

質問 下水道の受益者負担について、優遇策を講ずるべきだ。

答え 下水道整備に関する優遇策については、今後、立地への新たな支援策について、他自治体の状況を勘案し、検討していく。

山島工業団地は、白山ろくや市の南部地域から通勤可能な工業団地として整備したものであり、今後とも、県と連携を密にして、早期の誘致に努めていく。



Q6 北信越市長会の成果は

質問 5月14、15日に白山市において、北信越市長会（69市）が開催されたが、当市に対しての経済効果と成果を答えよ。

答え 宿泊、飲食、物産品の販売、観光PRなどを通じて本市のすばらしさは十分にアピールでき、大きな経済効果があった。

質問 県内外の市長の白山市の対する評価を、

Q5 有料広告を、さらに積極的に取り組め

質問 有料広告の取り組みは、ホームページ、広報紙、パンフレット等どのようなものがあるのか。

答え 平成19年度から取り組み、納税通知書の封筒、広報紙、ホームページ、コミュニティバスのバス停、バスのつるし広告、雑誌スポンサー制度等である。

質問 これまでの件数や金額などの実績は。

答え 平成19年度は、271件で263万円であり、平成26年度が406件で413万円で、伸びている。

質問 市内の公共施設(文化施設・グラウンド・体育館等)に有料広告を掲示できるようにせよ。

答え デザイン内容や、デザインが華美でないかを配慮する必要があるが、先進事例を検討しながら、新たな媒体を検討していく。

野球場のフェンス等に広告物が設置してある他の自治体も認識しているが、参考に確認していく。

質問 ネーミングライツ(施設命名権)の導入に対して、どのような考え方をしているのか。

答え 現在導入していないが、導入できるかどうか、その施設が広告媒体として有効か検討していく。

具体的に示せ。

答え 職員の行き届いた対応や懇切丁寧、心温まる応対に感謝とねぎらいの言葉をいただいた。

質問 他市の市長との意見交換で、今後、参考となる制度や事業は。

答え 人口減少対策、定住促進、防災・危機管理対策、少子化対策など、各市が取り込む施策も十分に参考にし、白山市独自の総合戦略を策定していきたい。

寺越和洋の活動



白山市合併10周年記念式典



加賀5市議会議員会



全国植樹祭